

3-3 乳幼児期（0～5歳ごろ）

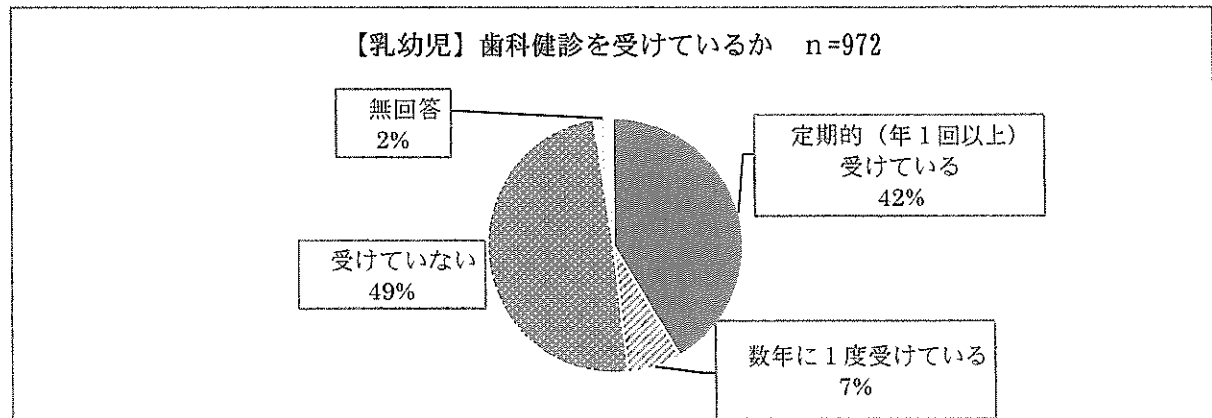
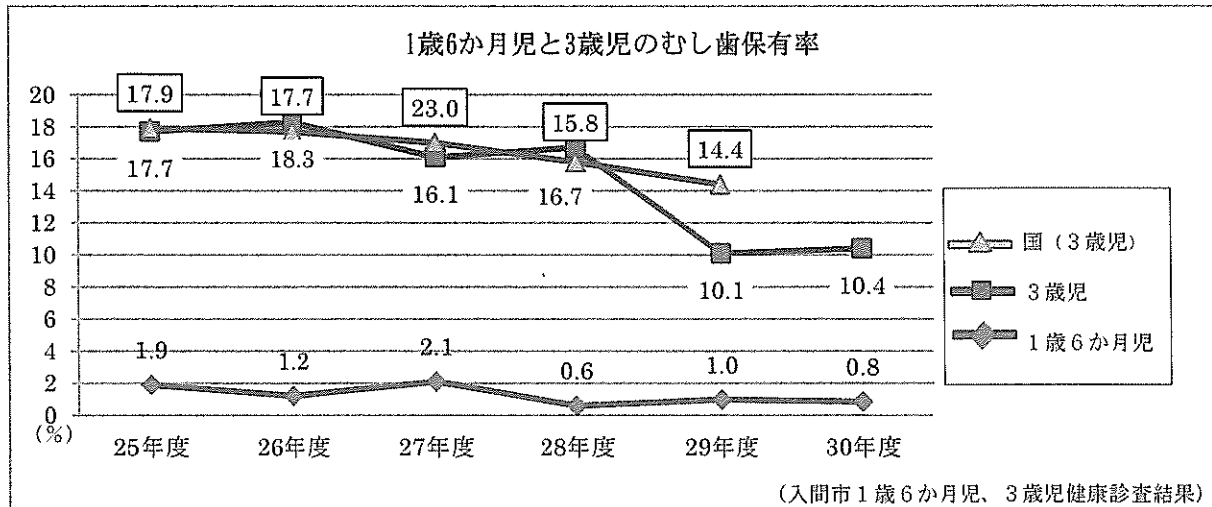
◆目標値の現状と新たな目標値

No	項目	策定時値 (H26年度)	目標値 (H31年度)	現状値 (R1年度)	達成度	新たな 目標値
1	むし歯のない人の割合	83.8% (H24年度 3歳児健康 診査結果)	87%以上	89.6% (H30年度 3歳児健康 診査結果)	A	90%以上

◎「むし歯のない人の割合」は、前回値より5.8ポイント増加し、目標値を達成しました。平成28年度より、新たに2歳児歯科健診を実施し、集団指導等を行った結果と考えます。今後は、新たな目標値を国の目標値（R4）に合わせて90%以上とします。

2	定期的な歯科健診を受ける児の割合	40%	55%以上	41.7%	B	—
---	------------------	-----	-------	-------	---	---

◎「定期的な歯科健診を受ける児の割合」は、前回値より1.7ポイント増加しましたが、目標値には達しませんでした。引き続き乳幼児健診の機会に保護者への普及啓発に努めます。



令和1年入間市歯と口腔の健康づくり実態調査

【これまでの主な取り組み】

- ・むし歯のない3歳児の割合を増やすため、平成28年度より2歳児歯科健診を実施しました。
- ・よくかむことの効果や乳幼児の口腔機能に関する知識について、9か月育児学級や乳幼児健診の場を利用し、普及啓発を行っています。
- ・「元気な入間食育推進計画」の推進と連動し、公立保育所の給食によくかむことを促すための献立を取り入れました。
- ・公立保育所の保健だよりでは、保護者による仕上げ磨きの必要性をお伝えし、食育だより「もぐもぐ」と給食だよりでは、望ましい食習慣の情報提供を行いました。
- ・入間市母子愛育会が開催する各地区の子育て支援事業や市内保育所・園、幼稚園等で実施する歯磨き教室において歯科保健指導を実施しました。
- ・入間市歯科医師会、歯科衛生士会狭山支部と「歯と口腔の健康フェア」を実施し、歯と口腔の健康づくりの推進に取り組みました。
- ・定期的な歯科健診やむし歯予防に有効なフッ素（フッ化物）の応用、歯科保健指導の重要性について、乳幼児健診対象の保護者に対し普及啓発を行いました。

【今後の取り組み】

- ・むし歯のない3歳児の割合をさらに増やすため、1歳6か月児健診や2歳児歯科健診において、規則正しい生活習慣（食生活、歯みがき等）の情報提供を行います。
- ・「元気な入間食育推進計画」の推進と連動し、公立保育所の給食によくかむことを促す献立を取り入れます。
- ・公立保育所の食育だよりや給食だより等で、規則的な歯みがきの生活習慣や望ましい食生活の情報提供を行います。
- ・乳歯のむし歯予防や口腔機能に関する知識の普及啓発を行います。
- ・入間市歯科医師会や歯科衛生士会狭山支部と連携し、「歯と口腔の健康フェア」等の機会に、歯と口腔の健康づくりの取り組みを推進します。
- ・電話や来所相談等での歯や口腔の悩み、歯科医院の紹介など相談体制の充実に努めます。
- ・乳幼児健診や乳幼児相談、健康教室、出張講座等で定期的な歯科健診や歯科保健指導等の重要性について普及啓発し、年齢に応じた支援を行います。

3-4 学齢期（6～18歳ごろ）

◆目標値の現状と新たな目標値

No	項目	策定時値 (H26年度)	目標値 (H31年度)	現状値 (R1年度)	達成度	新たな 目標値
3-1	(小学校) 1日3回以上、 歯磨きしてい る人の割合	43.7%	80%以上	48.3%	B	—

◎小学校における「1日3回以上、歯磨きしている人の割合」は、目標値には届きませんでした。4.6ポイント増加しました。学校や関係機関との連携、規則正しい生活習慣や歯と口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発に努めた結果と考えます。

3-2	(中学校) 1日3回以上、 歯磨きしてい る人の割合	3.3%	50%以上	3.0%	C	—
-----	-------------------------------------	------	-------	------	---	---

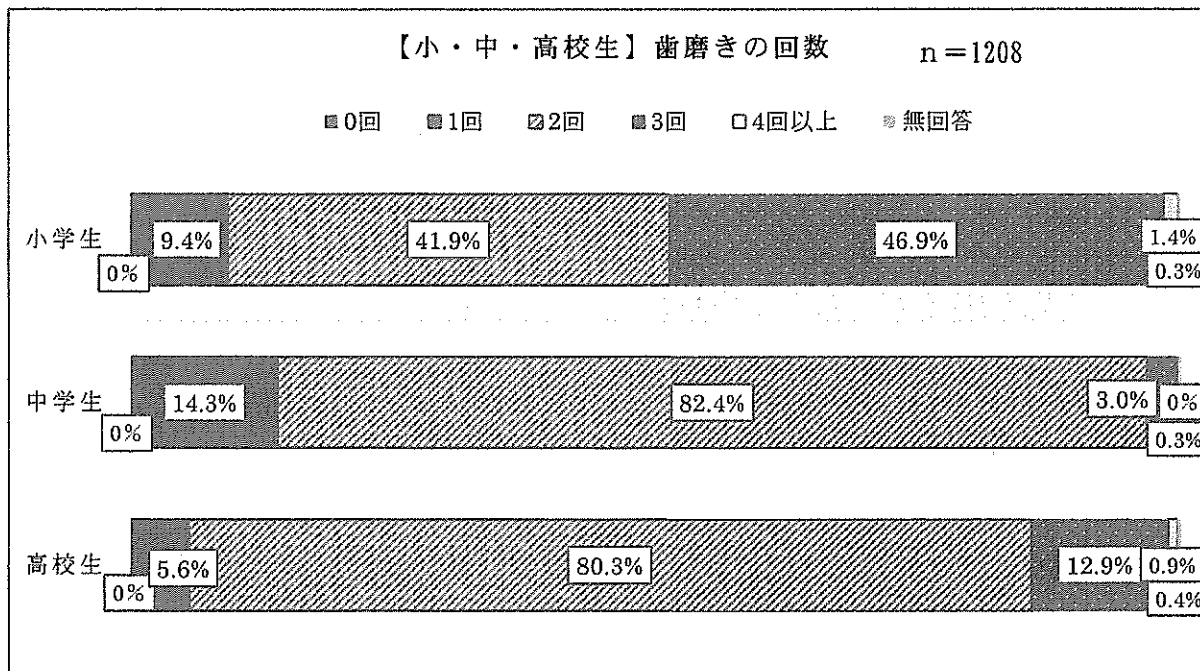
◎中学校における「1日3回以上、歯磨きしている人の割合」は、前回値と比べてほとんど変化はありませんでした。歯と口腔の健康づくりに関する知識について、さらなる関係機関との連携と普及啓発が必要です。

4	中学1年生の 健全歯のみの 割合	64.7%	65%以上	73.7%	A	現状値 以上
---	------------------------	-------	-------	-------	---	-----------

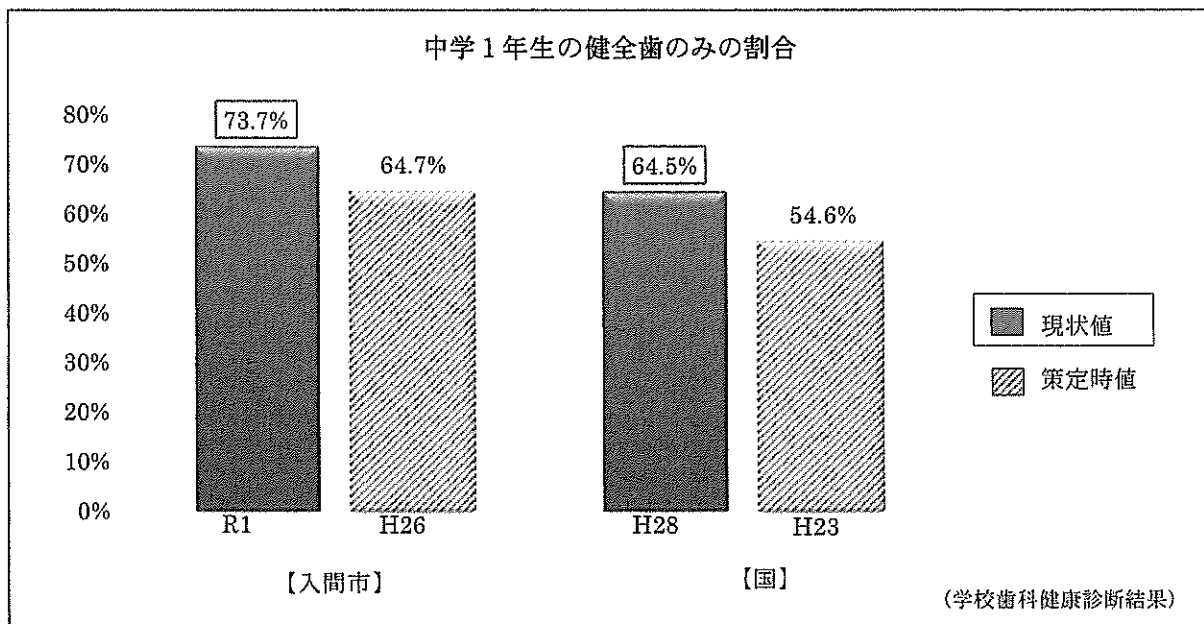
◎「中学1年生の健全歯のみの割合」は、目標値より8.7ポイント高い結果でした。今後、目標値は、国の目標値（R4）65%を達しているため、現状値以上とします。

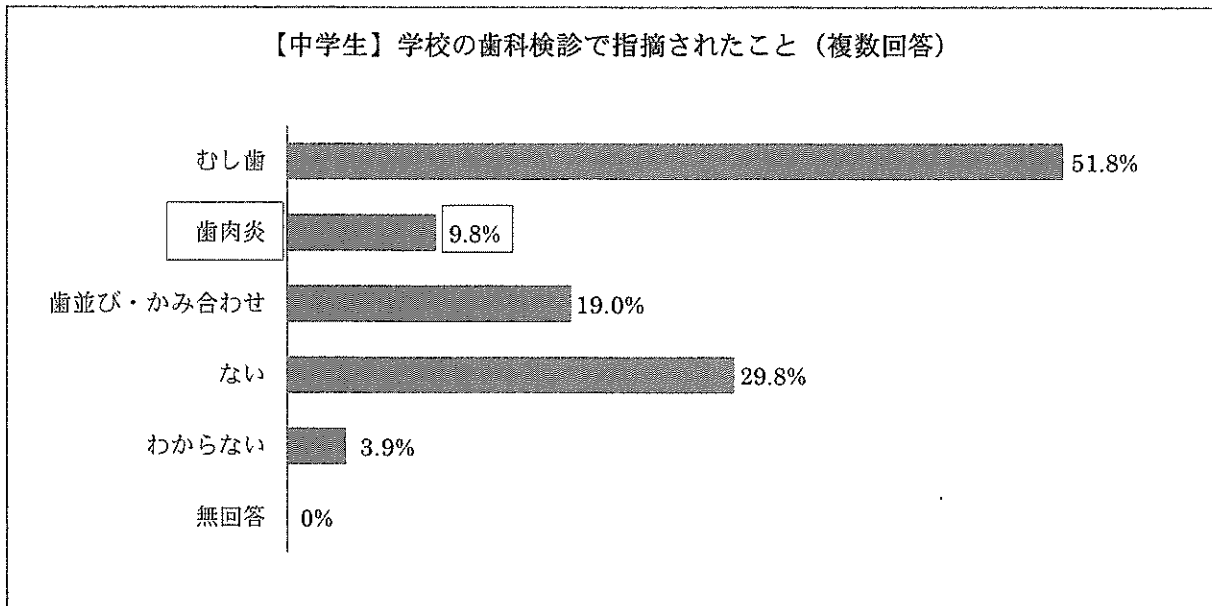
5	中学生におけ る歯肉炎を有 する人の割合	7%	7%以下	9.8%	D	—
---	----------------------------	----	------	------	---	---

◎「中学生における歯肉炎を有する人の割合」は、前回値より2.8ポイント悪化しています。規則正しい生活習慣の情報提供や歯と口腔の健康づくりに関する知識について、さらなる関係機関との連携と普及啓発が必要です。



令和1年入間市歯と口腔の健康づくり実態調査





令和1年入間市歯と口腔の健康づくり実態調査

【これまでの取り組み】

- ・小・中学校においては、食後の歯磨き指導を行いました。
- ・学校歯科医や歯科衛生士会等と連携し、小・中学校における歯と口腔に関する学習の実習を行いました。
- ・学校と連携を図り、学校行事（学校保健委員会、学校公開等）において、児童・生徒の保護者に対し規則正しい生活習慣や歯と口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発に努めました。

【今後の取り組み】

- ・小・中学校での学校歯科医、歯科衛生士等の専門家による歯科指導をより充実させ、児童・生徒に歯と口腔の健康に関する知識の普及啓発を行います。
- ・学校等や関係機関と連携を図り、学校行事（学校保健委員会、学校公開等）において、児童・生徒及び保護者や関係者に対し、規則正しい生活習慣や歯と口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発を行います。

3-5 成人期（19～64歳ごろ）

◆目標値の現状と新たな目標値

No	項目	策定時値 (H26年度)	目標値 (H31年度)	現状値 (R1年度)	達成度	新たな 目標値
6	歯間部清掃用具（デンタルフロス、歯間ブラシ）の使用者の割合	37.4%	43%以上	41.9%	B	—

◎「歯間部清掃用具（デンタルフロス、歯間ブラシの使用者の割合）」は、前回値より4.5ポイント増加しましたが、目標値には届きませんでした。特に若い年代での使用率が低い状況でした。

7	20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合	25.3%	25%以下	16%	A	現状値以下
---	-------------------------	-------	-------	-----	---	-------

◎「20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合」は、前回値より9.3ポイント減少し、目標値を達成しました。今後、目標値は、国の目標値（R4）25%を達しているため、現状値以下とします。

8	40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合	60%	38%以下	45.2% 44.7%	B	—
---	-------------------------	-----	-------	----------------	---	---

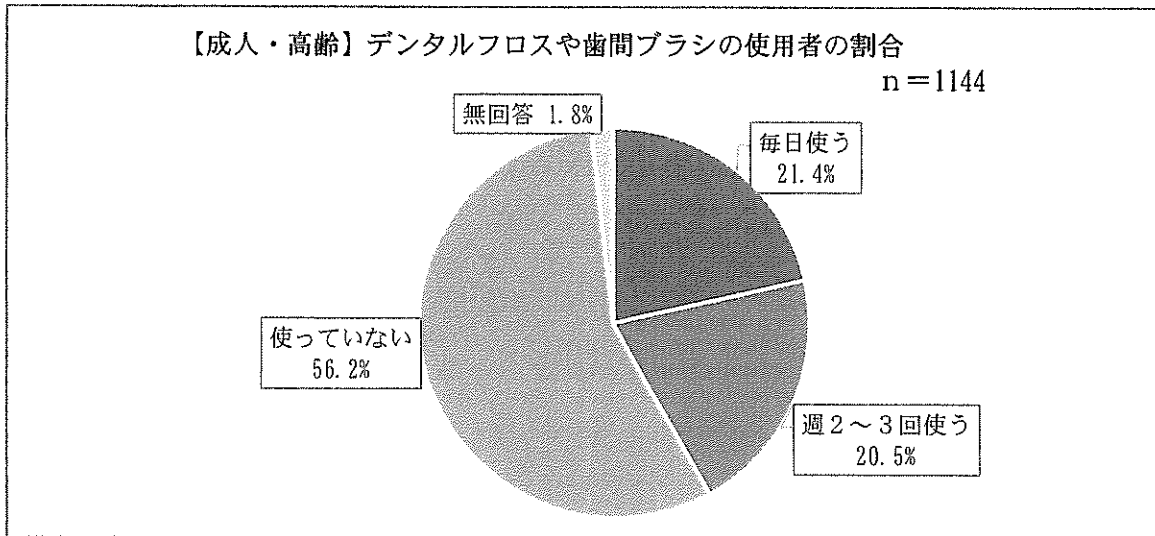
◎「40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合」は、前回値より15.3ポイント減少し、目標値には達しませんでした。改善がみられています。乳幼児健診対象の保護者に対し、集団指導の場において普及啓発を行った結果と考えられます。

9	60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合	62.3%	51%以下	43.2%	A	現状値以下
---	-------------------------	-------	-------	-------	---	-------

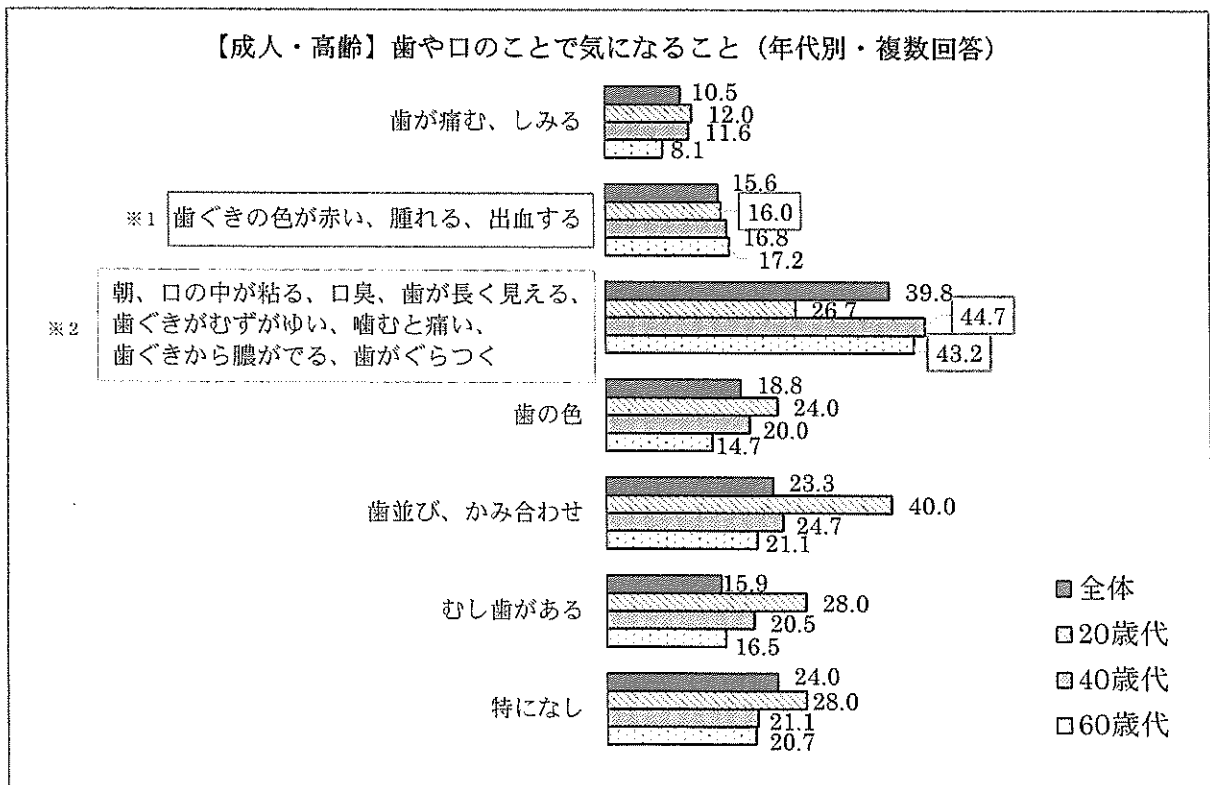
◎「60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合」は、前回値より19.1ポイント減少し、目標値を達成しました。今後、目標値は、国の目標値（R4）45%を達しているため、現状値以下とします。

10	定期的な歯科健（検）診の受診者の割合	30.5%	52%以上	33%	B	—
----	--------------------	-------	-------	-----	---	---

◎「定期的な歯科健（検）診の受診者の割合」は、目標値には達しませんでした。前回値より2.5ポイント増加しました。引き続き、定期的な歯科健（検）診の重要性を周知することが必要です。



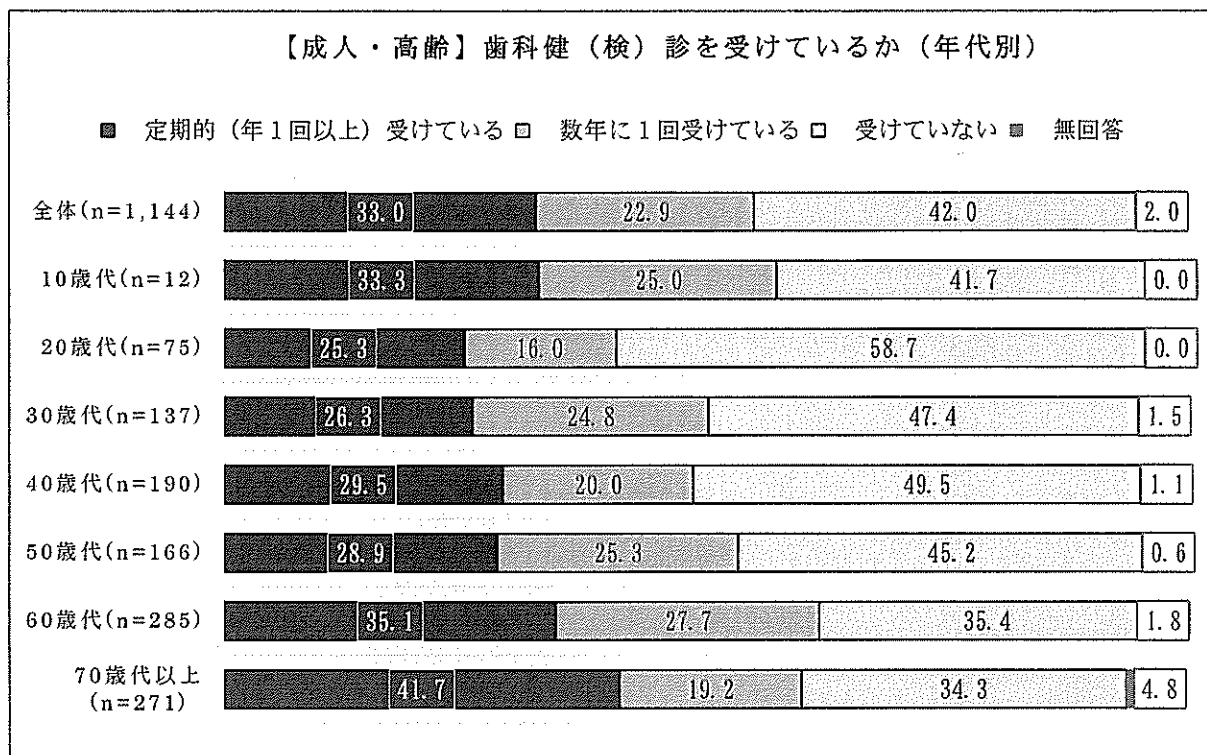
平成29年12月 市民健康実態調査



平成29年12月 市民健康実態調査

※1 歯肉炎の症状（歯垢によって起こる歯肉に限局した炎症）

※2 歯周病の症状（歯垢によって歯肉に炎症を引き起こし、やがては歯を支えている骨を溶かしていく病気）



平成29年12月 市民健康実態調査

【これまでの取り組み】

- ・ 歯周病と糖尿病が、お互いに悪影響を及ぼしあう関係について、ポスターを作成し啓発を行いました。（平成27年度：生活習慣病の早期発見・治療健（検）診への受診勧奨のための啓発ポスターにて）
- ・ 平成27年度から、入間市歯科医師会のご協力により、「歯と口腔の健康フェア」において「口腔がん検診」を実施しました。
- ・ 入間市歯科医師会の協力で市内の40、50、60歳で、現在歯科治療中でない方を対象とした成人歯科検診を行い、歯科疾患の早期発見・早期治療の促進に努めています。また、判定結果説明及び事後指導を行い、個人に合わせた口腔ケアに繋がりました。
- ・ 平成27年度に入間市歯科医師会の協力を得て、「歯周病セルフチェックシート」を作成し、歯科医院や市内診療所等への設置、特定健診や成人歯科検診等の機会に配布を行いました。
- ・ 歯周病予防に有効な歯間部清掃用具（デンタルフロス等）の使用について、両親学級の参加者には実技を行い、1歳6か月児健診対象の保護者には集団指導を行いました。
- ・ 定期的な歯科健（検）診や歯科保健指導の重要性について、乳幼児健診対象者の保護者に普及啓発をしました。

【今後の取り組み】

- ・ 糖尿病で医科受診中の方のうち歯科未受診の国保被保険者、及び糖尿病の疑いのある方のうち医科・歯科ともに未受診の国保被保険者に対して、歯科健（検）診の受診を勧奨する通知を送付し、定期的な歯科健（検）診や歯科保健指導の重要性について普及啓発します。
- ・ 入間市歯科医師会や歯科衛生士会狭山支部と連携し、「歯と口腔の健康フェア」等の機会に歯や口腔の健康づくりの取り組みを推進します。
- ・ 歯周病予防に有効な歯間部清掃用具（デンタルフロス等）について、普及啓発を行います。
- ・ 電話や来所相談等での歯や口腔の悩み、歯科医院の紹介など相談体制の充実に努めます。
- ・ 成人歯科検診の受診率向上に向けて、市報・市ホームページ・ポスター等による広報を積極的に行い周知を図ります。

3-6 高齢期（65歳以上）

◆目標値の現状と新たな目標値

No	項目	策定時値 (H26年度)	目標値 (H31年度)	現状値 (R1年度)	達成度	新たな 目標値
11	60歳代における咀嚼良好者の割合	84.2%	85%以上	75.1%	D	—

◎「60歳代における咀嚼良好者の割合」は、前回値より9.1ポイント悪化しています。地域での健康講座等で口腔機能の維持、向上についてさらなる普及啓発が必要です。

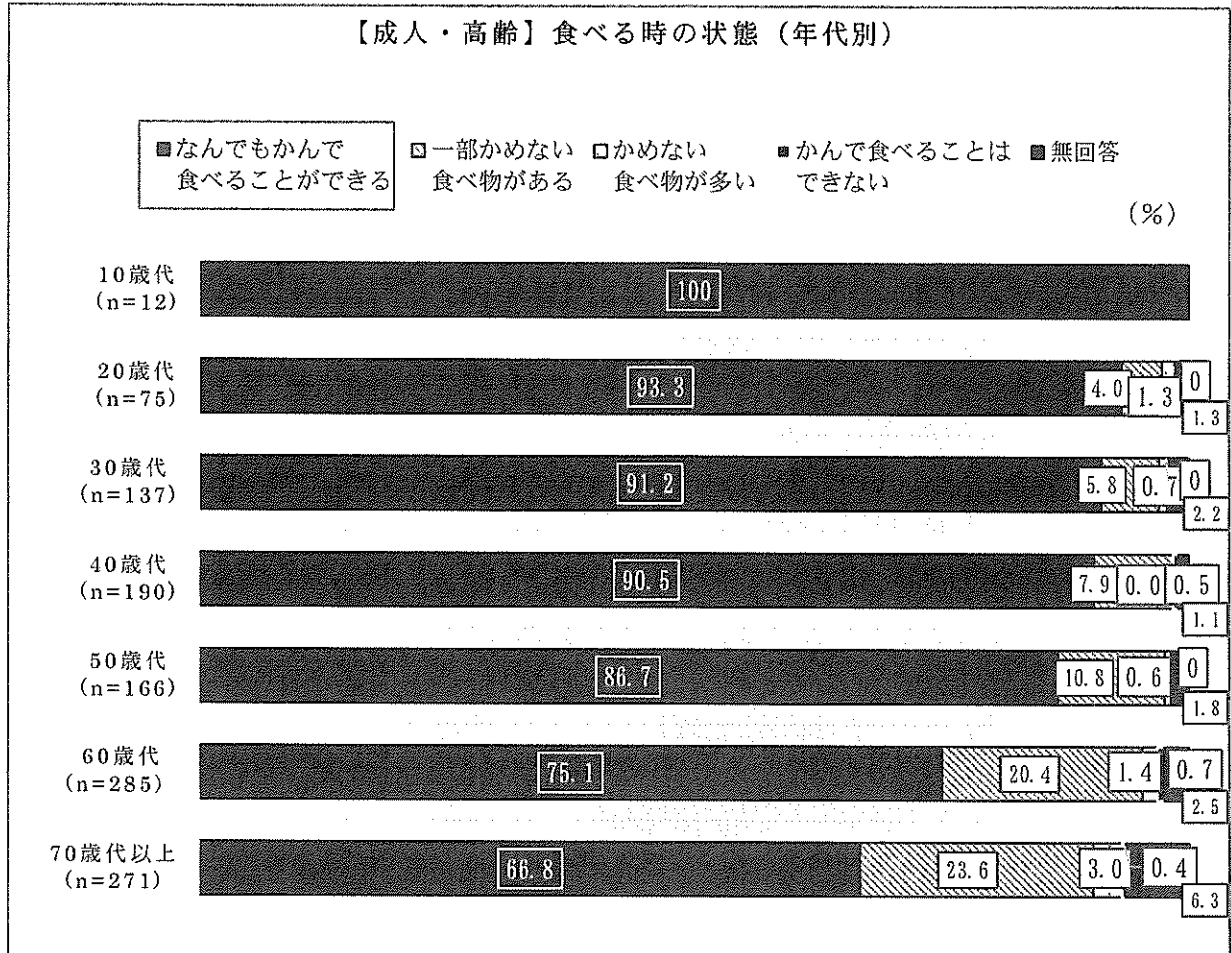
12	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合（8020達成者）	43.8% (75~84歳)	47%以上	55.6%	A	現状値 以上
----	---------------------------------	-------------------	-------	-------	---	-----------

◎「80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合」は、前回値より11.8ポイント増加し、目標値を達成しました。今後、目標値は、国の目標値（R4）50%を達しているため、現状値以上とします。

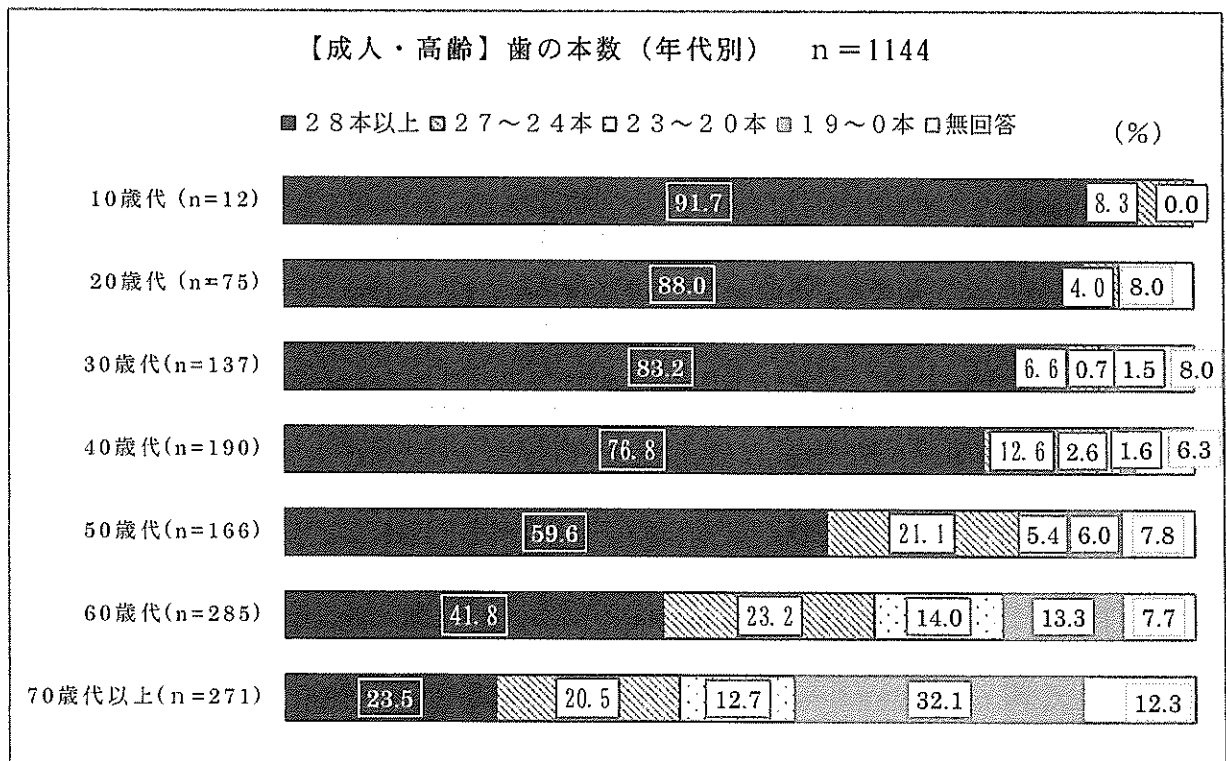
13*	定期的な歯科健（検）診の受診者の割合	30.5%	52%以上	33%	B	—
-----	--------------------	-------	-------	-----	---	---

※ 再掲：成人期「定期的な歯科健（検）診の受診者の割合」

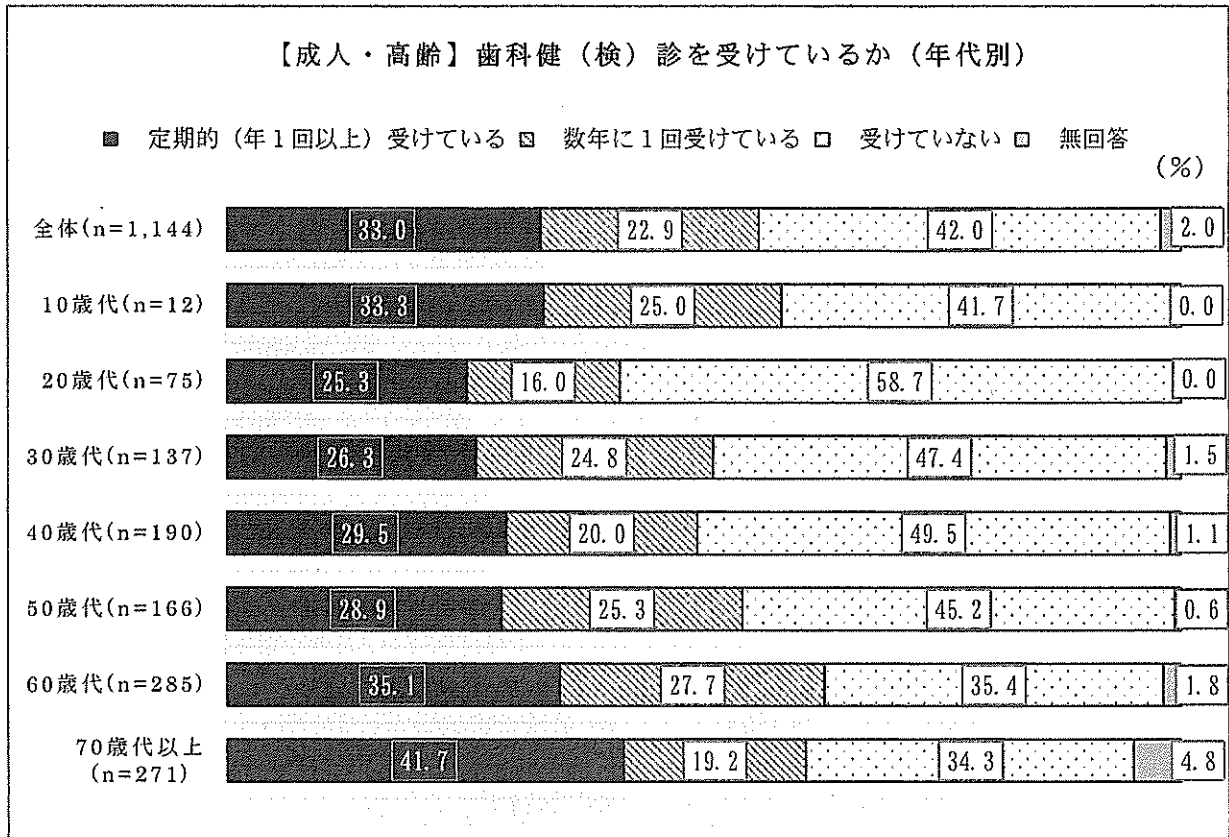
◎「定期的な歯科健（検）診の受診者の割合」は、目標値には達しませんでした。前回値より2.5ポイント増加しました。引き続き、定期的な歯科健（検）診の重要性を周知することが必要です。



平成29年12月 市民健康実態調査



平成29年12月 市民健康実態調査



平成29年12月 市民健康実態調査

【これまでの取り組み】

- 口腔ケア、歯周病予防、摂食嚥下についての知識や実技を身につけ、要介護状態を予防するための介護予防教室「歯っぴーかむかむ」、「お口の健康講座」等を開催しました。
- 埼玉県後期高齢者医療広域連合が実施した「健康長寿歯科健診」において、フレイル対策基準該当者※1に対し、一般介護予防事業への参加勧奨を行いました。
- 口腔の健康を保つことが全身の健康を保つことにつながることを周知するため、歯科医師会や歯科衛生士会と連携し、市内の老人憩いの家等で認知症予防や誤嚥性肺炎予防などについて講話を行いました。
- 入間市歯科医師会の協力で市内の70歳で、現在歯科治療中でない方を対象とした成人歯科検診を行い、歯科疾患の早期発見・早期治療に努めています。また、判定結果説明及び事後指導を行い、個人に合わせた口腔ケアに繋がりました。
- 平成27年度からは、入間市歯科医師会のご協力により、「歯と口腔の健康フェア」において「口腔がん検診」を実施しました。

- ・平成30年度からの（月1回）入間市自立支援型地域ケア会議において、歯と口腔の健康づくりに関する正確な情報提供に努めました。また、入間市歯科医師会主催の「8020 よい歯のコンクール市長賞」の周知も図りました。

【今後の取り組み】

- ・フレイル^{※2}の予防、改善または重症化予防のため、一般介護予防事業への参加勧奨を行います。
- ・歯や口腔の健康が身体全体の健康に及ぼす影響について周知を図ります。
- ・口腔の健康づくりについて個人が実践できるよう、介護予防事業を推進します。
- ・入間市歯科医師会や歯科衛生士会狭山支部と連携し、「歯と口腔の健康フェア」等の機会に、歯と口腔の健康づくりの取り組みを推進します。
- ・成人歯科検診の受診率向上に向けて、市報・市ホームページ・ポスター等による広報を積極的に行い周知を図ります。
- ・歯科医院や訪問歯科医の紹介など相談体制の充実に努めます。

※1 フレイル対策基準該当者とは、反復唾液嚥下回数テスト（RSST）において30秒間に3回以下で、かつBMIが21.5未満の者

※2 フレイルとは、加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態

3-7 障害者・介護が必要な高齢者等

◆目標値の現状と新たな目標値

No	項目	策定時値 (H26年度)	目標値 (H31年度)	現状値 (R1年度)	達成度	新たな 目標値
14	障害者入所施設での定期的な歯科健（検）診・歯科保健指導実施率（治療を含む）	100%	100%	100%	A	—

◎「障害者入所施設での定期的な歯科健（検）診・歯科保健指導実施率（治療を含む）割合」は、前回値と同様の結果でした。

15	介護老人福祉施設・介護老人保健施設での定期的な歯科健（検）診実施率	83.3% (H23年 12月狭山保健所管内社会福祉施設における歯科保健に関する調査結果)	85%以上	100%	A	100%
----	-----------------------------------	---	-------	------	---	------

◎「介護老人福祉施設・介護老人保健施設での定期的な歯科健（検）診実施率の割合」は、全価値より15ポイント増加し、目標値を達成しました。

【これまで取り組み】

- ・本市の障害者入所施設（2施設）において、かかりつけ歯科医が必要に応じて歯科指導や治療に当たる等の体制を整備し活用しました。
- ・障害者入所施設における日常的な口腔ケア（歯磨きや義歯の清掃、舌、口腔粘膜の清掃等）については、施設職員が毎食後行っています。
また、歯ブラシや歯間ブラシ等の利用については、個人に合わせた用具を利用して負担の軽減を図るなど工夫しながら口腔ケアにあたりました。
- ・施設職員が歯科医師や看護師から指導を受け、スキル獲得やスキルの向上を図りました。

【今後の取り組み】

- ・ 関係機関と連携を図り、歯と口腔の健康づくりを推進します。
- ・ 入間市歯科医師会等と連携し、障害者・児の歯科相談について正しい情報の収集に努めます。
- ・ また、相談支援事業所連絡会（年10回開催）や自立支援協議会等の協力を得て、歯科相談体制や埼玉県障害者歯科相談医制度の周知を図ります。

